

統合地域協議会ニュース

創刊号

発行：足立区教育委員会事務局
学校適正配置担当

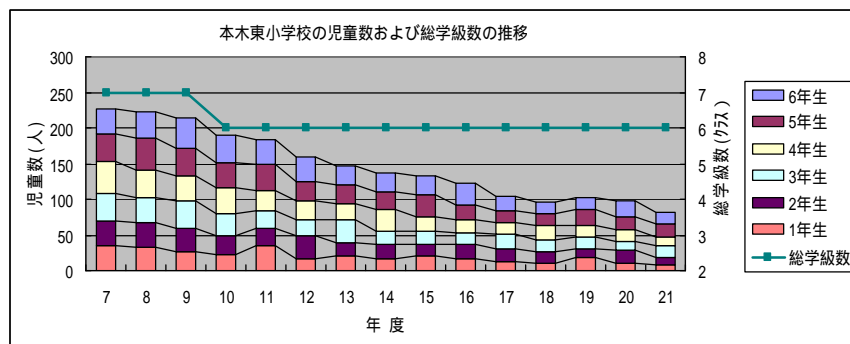
足立区と足立区教育委員会では、本木小学校と本木東小学校の統合計画を進めています。この「統合地域協議会ニュース」は、本木小学校と本木東小学校の統合に関する内容を、両校の地域や保護者のみなさんにお知らせするために創刊しました。

今後、この「統合地域協議会ニュース」を定期的に発行し、統合に向けた協議の内容や、その結果を踏まえて教育委員会として決定したことなどをお知らせいたします。

1 統合計画の内容

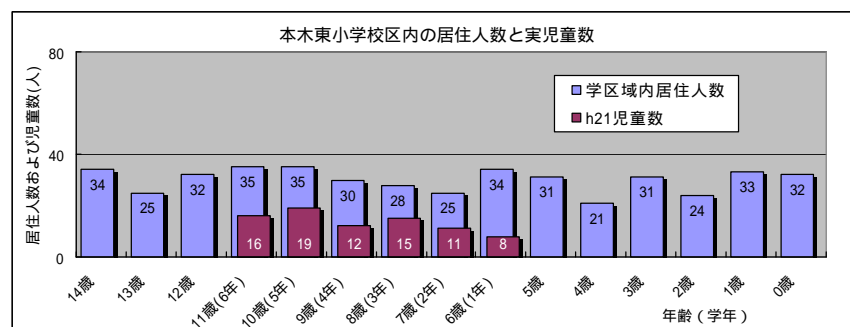
本木東小学校の過小規模化と現在・将来の児童数

平成7年度以降の本木東小学校の学校規模の推移を見ると、平成7年度の児童総数226人に対し、平成21年度の児童総数は81人で、約64%児童数が減少し、平成10年度以降は学校全体で6学級の過小規模が続いています。



学区内の子どもの人数は、1年生から6年生までの各年代とも40人以下の単学級規模となっており、平成21年度現在の在校児童数は、各学年で8~19人となっています。

また、平成22年度以降に小学校に入学する0歳~5歳の居住人数も40人以下の単学級規模であり、居住人数と実際の児童数の両面を見ても、各学年とも将来的に複数学級になることが非常に困難であると考えます。



共に平成21年5月1日付データです。足立区では、小・中学校ともに学校全体で6学級以下を過小規模としています。

子ども達の教育環境の向上を図るために、
本木東小学校と本木小学校の統合により、学校規模を適正規模にします。

足立区立小・中学校の適正規模・適正配置に関する情報は、足立区ホームページに掲載しています。くわしくは、足立区ホームページ「くらしのガイド」学ぶ 小・中学校の適正規模・適正配置 または、「<http://www.city.adachi.tokyo.jp/003/m020.html>」からご覧ください。

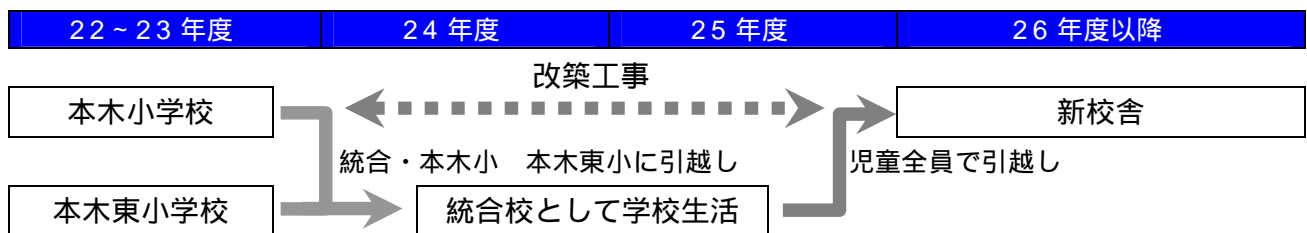
本木小学校との統合とした理由

本木東小学校は、昭和 29 年に本木小学校の分校として開校した後、昭和 32 年に本木東小学校として独立したことから、本木東小学校と本木小学校は、学校の歴史上の関係が非常に深い小学校です。また、周辺の 4 つの小学校（本木小学校、関原小学校、寺地小学校、梅島第二小学校）の中で、本木東小学校との距離が一番近いことから、本木小学校は統合校として最も望ましい小学校と考えます。

実施計画（案）でお示した「統合の方法」と「スケジュール」

- ◆ 本木小学校との統合により、本木東小学校の学校規模を改善します。
- ◆ 統合に伴って、本木小学校を改築（新しく建て直す）します。
- ◆ 改築は、平成 24 年度～25 年度を予定しています。
- ◆ 改築の間は、現在の本木東小学校の校舎を利用します。
- ◆ 統合の手続きは、本木東小学校の位置に通い始める平成 24 年 4 月に行います。

統合から新校舎への流れ（イメージ）



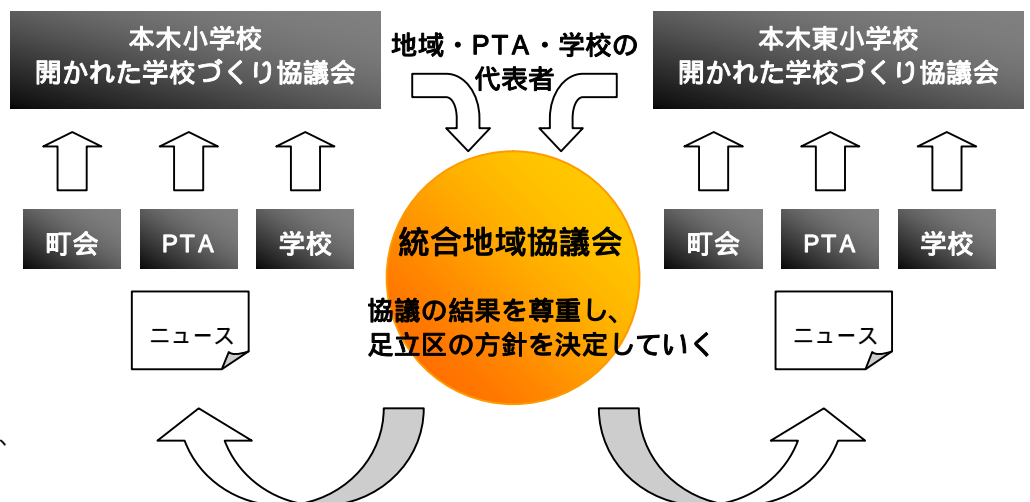
統合に向けて協議を進めます

第一回の統合地域協議会を、平成 22 年 3 月 3 日（水）に開催しました。

今後、統合に向けて、両校の開かれた学校づくり協議会と保護者の代表者からなる「統合地域協議会」を中心に、様々な課題について話し合いを進め、その協議の結果を尊重して、教育委員会として方針を決定していきます。

また、この「統合地域協議会ニュース」を協議会の終了後に毎回発行して、地域や保護者のみなさんに情報をお伝えしていきます。

【統合地域協議会のイメージ】



3/3 の統合地域協議会では、委員の委嘱や会長、会長職務代理などの選任、今後の協議事項の確認をしました。（4 ページに記載）
また、統合地域協議会ニュースは、保護者や町会に配布したほか、両校にも置いてあります。

2 これまでいただいた主な意見等と教育委員会からの回答

本木東小学校では昨年の3月以降、本木小学校では昨年の7月以降、開かれた学校づくり協議会および保護者のみなさんに、足立区の適正規模・適正配置の考え方（ガイドライン）や、実施計画（案）の説明をしてきました。

その時にいただいた主な意見等と、教育委員会からの回答です。

本木東小学校での主な意見

小規模であることを望んで入学させました。統合に反対です。

来年度の入学予定者が少なく、学校としての活動に不安があります。

子ども達のことを一番に考えなければいけない。今の小規模な学校でデメリットもたくさんある。統合の機会を逃してはいけないと思います。

本木小学校の地域から、学校の名前を本木小学校にしてほしいという強い意見がある。開校年月日も今のまを望んでいる。

本木小学校の歴史から考えれば、それも理解できる。本木東小学校のみ廃校もやむを得ないのではないか。

始めから廃校ありきではいけない。仮に本木東小のみの廃止となった場合でも、本木東小の50年以上の歴史（人権尊重校の取り組みや金管バンド等）を引き継いでもらいたい。

学校は防災の拠点でもある。跡地の利用については、統合の話と一緒に進めてもらいたい。

本木小学校での主な意見

本木小学校の名前を残してほしいです。本木東小学校のみの廃止の手続きとして、児童を本木小学校で受け入れる形ではいけないのですか。

解決しなければならないのは本木東小学校の学校規模の改善です。本木小学校の改築をすることとは関係ないのではないのですか。

子ども達を本木小学校の校舎で卒業させてあげたいと思います。今の児童たちが卒業するまで待てないのですか。

千住で多くの統合をしたときはどうだったのか。情報がほしいです。

両校共通の意見

この実施計画（案）は、スケジュールを含めて決定なのですか。

子ども達が仲良くなるのが大切だと思います。対策は考えているのですか。

本木小学校がいったん本木東小学校にきたときに、子ども達がすぐに仲良くなれるか不安です。

【教育委員会からの主な回答】

実施計画（案）で進めていきたいと考えています。特にスケジュールについては、早めに決定するべきだと思っています。今年度末には案がとれるよう、みなさんと話し合いを進めていきたいと考えています。

本木小学校の名前と歴史について、本木小学校の地域や保護者のみなさんから強いご意見をいただいています。今後、両校の関係者との話し合いを進めながら、手続き方法などを決めていきたいと考えています。

近い将来、本木小学校も建て替えや大規模改修の時期を迎えます。しかし、本木小学校の敷地が狭く工事には困難な面が多いため、一時的に本木東小学校に通うことでグラウンドやプールを通常通り使いながら、校舎を新しくできる方法を提案しました。

教育委員会も子ども達の事を一番大切に考えています。今後、千住地域で行った統合の事例などを参考にしながら、統合までの2年の間に両校の良い関係を築いていきます。

本木東小学校の跡地については決まっていません。今後、地域のみなさんのご意見を聞きながら、区役所内の担当部署とともに検討を進めていきます。

3 統合地域協議会で話し合っていく主な課題等（第一回統合地域協議会での確認事項）

課 題	検討の方向性
児童・保護者・地域がスムーズに融合していくための方法について	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 統合までの児童の交流について考えていきます。 ◆ 保護者や地域の交流なども検討していきます。
統合校の名称について 統合の手続きについて	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 統合校の名称と手続きについて、お互いの意見を出し合っていきます。統合の手続きは、両校の廃止と新校の設置が、片方の廃止手続きのいずれかになります。 ◆ 統合地域協議会での協議の結果を踏まえて、その意見を尊重し、最終的に教育委員会で決定します。
両校が培ってきた歴史と文化を引き継いでいくことについて	<ul style="list-style-type: none"> ◆ お互いの学校の歴史や文化について理解を深めながら、統合校に引き継いでいきます。 ◆ 本木東小学校の人権尊重校の取り組みや、金管バンドの活動について、すでに意見交換が行われています。
本木小学校の改築について	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 新しい校舎をどのようなものにしていくか、みなさんの意見を聞きながら考えていきます。
本木東小学校の跡利用について	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 将来的な本木東小学校の跡利用方法について、みなさんと一緒に考えていきます。

「統合地域協議会委員」を教育長から委嘱しました。

平成 22 年 3 月 3 日現在（敬称略）

役員	本木小学校	役員	本木東小学校
会長	桐山 貞久（開かれ会長）	会長職務代理	柴田 健（開かれ会長）
副会長	野口 郁夫（開かれ副会長）	副会長	松井 芳富（開かれ副会長）
	糸井 美恵子（開かれ副会長）		平澤 義征（開かれ副会長）
	田中 実（開かれ委員）		七條 俊彦（開かれ副会長）
	細田 和甫（開かれ委員）		漆原 康次（開かれ委員）
	庭山 成木（開かれ委員）		加藤 喜代子（開かれ委員）
	小出 孝江（開かれ委員）		藤沼 眞由美（開かれ委員）
	影山 幸一郎（PTA 会長）		小林 旭（PTA 会長）
	佐藤 佳代子（PTA 副会長）		清水 眞由美（PTA 副会長）
	村上 良法（学校長）		川田 辰男（学校長）
	布瀬 宏子（副校長）		芳賀 幸広（副校長）

開かれ = 開かれた学校づくり協議会

第二回の統合地域協議会は、平成 22 年 3 月 17 日（水） 午後 7 時から
本木東小学校 1 階の「百千草教室」で開催します。（傍聴可能です）

このたび、本木小学校と本木東小学校の統合に向けて、「統合地域協議会ニュース」を創刊いたしました。

学校の統合は、地域や保護者のみなさんの多くのご理解とご協力が必要です。

「たくましく生き抜く力を育む」という基本理念のもと、子ども達がいかに早く仲良くなれるかを一番に考えながら、統合に向けて準備を進めていきます。

今後とも、ご理解・ご協力をお願いいたします。

事務局(発行元)：足立区教育委員会事務局 学校教育部 学校適正配置担当 中川・神保

電話番号：03-3880-5426（直通）